



健康づくりのふれあいのクッキング

現代人にとって最も不足しがちの栄養素は何でしょう。それはカルシウムです。カルシウムは成人ひとりが1日600mg以上摂ることが理想的とされています。11月1日に行われた「ふれあい健康まつり」の中で、「増やそうCa(カルシウム)、減ら脂(脂肪)Na(塩)さい」をテーマに健康づくりのクッキング教室が開かれました。20名の生徒たちは、先生の指導を受けながら楽しい雰囲気の中で持ち前の腕をふるいました。

皆さん! カルシウム不足解消には、牛乳が一番良いようです。

市民交通災害共済 受付中

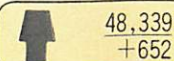
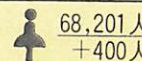
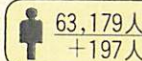
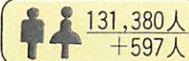
毎月15日は、お年寄りの交通安全日

思いやり みんなですすめる 交通安全

交通事故状況 <10月>

- 発生件数 41 (累計528/前年比-12)
- 死亡者 0 (累計10/前年比±0)
- 負傷者 49 (累計589/前年比-55)

再生紙(古紙混入率80%)利用の市報です



(上段は、平成4年11月1日現在、下段は今年1月1日との比較)

地球にやさしいやまぐちを

山口市ごみ問題協議会発足



11月4日に開かれた山口市ごみ問題協議会

増え続けるごみに歯止めをかけ、燃えるごみを処理する焼却場の延命化と、燃えないごみを埋め立てる一般廃棄物最終処分場の将来計画、併せて地球環境問題は市政の大きな課題となっております。こうした問題を解決していくために、「山口市ごみ問題協議会」がこのほど設置されました。

市では、燃えるごみと燃えないごみの2分別制でごみを収集しています。燃えるごみは、山口県中部環境施設組合清掃工場で焼却。燃えないごみは、昨年使用開始した神田一般廃棄物最終処分場に埋立てをしています。

市では、燃えるごみと燃えないごみの2分別制でごみを収集しています。燃えるごみは、山口県中部環境施設組合清掃工場で焼却。燃えないごみは、昨年使用開始した神田一般廃棄物最終処分場に埋立てをしています。

山口市ごみ問題協議会委員名簿

氏名	役職名
秋本 邦彦	山口市議会教育民生委員長
荒瀬 保夫	山口商工会議所専務理事
小田 文雄	山口市助役
岡藤 康男	山口市社会福祉協議会長
岸岡 俊和	山口市商店街連合会長
蔵増 和子	山口市健康と環境を守る会会長
佐々木 澄子	山口県消費生活センター所長
新宅 儀次郎	山口市小学校PTA連合会長
末永 弘子	山口市教育委員長
末永 昌己	仁保農業協同組合長
杉山 茂一	山口市連合町内会長
高取 健一郎	山口大学教授
寺山 和夫	山口環境保健所長
徳本 黎子	山口市婦人問題懇話会座長
西村 克己	山口市中学校PTA連合会長
前田 善治	山口市市民生活部長
柳新 富美子	山口市農業協同組合長
山口 武彦	山口市連合婦人会長
山本 武彦	山口県中部環境施設組合事務局長
芳松 稔治	山口市子ども会育成連絡協議会長
吉見 賢治	山口市大型店協議会長

また、地球の温暖化が引き起こす異常気象、フロンガスによるオゾン層の破壊による

「協議会」では、ごみの再資源化、減量化等について意見を交えながら市民の皆さんと行政が一体となって「地球に

ごみ問題解決 市民が一体で行政が

有害な紫外線の増加、大規模な熱帯林等森林資源の破壊など、おおよそ私達には関係がないと思われていた地球規模での環境破壊は、実は私たちが普段捨てているいろんなごみの質と、量の増加が大きき原因しているのです。

やさしい都市やまぐち」のまちづくりを目指します。

また、ごみ行政の将来を見通す「山口市一般廃棄物処理基本計画」案の作成を現在専門機関に委託しており、この計画も委員の皆さんが協議し山口にあった基本計画とします。その他ごみ問題の解決に関することについて協議を進めていきます。



増え続けるごみ(神田一般廃棄物最終処分場)

補正予算など3議案を可決 臨時市議会

臨時市議会

平成4年第5回山口市議会(臨時会)が10月19日に開催されました。

国の総合経済対策に伴う公共事業を引き続き推進するために山口市一般会計補正予算と山口市下水道事業特別会計補正予算、議員提出議案の3件が可決されました。

一般会計補正予算は、歳出予算については、農林水産業費に、新沿岸漁業構造改善事業千余万円、海岸保全施設等整備事業2千2百万円を追加

計上したものです。

歳入予算については、特定財源として、国庫支出金千2百10万円、県支出金千20万円、市債4百70万円を、一般財源として、繰越し金5百50万円を追加計上し、予算総額は3百55億8千100余万円となりました。

下水道事業特別会計補正予算については、歳入歳出予算それぞれ3千万円を追加し、予算総額は39億9千3百60余万円となりました。

が取り組めばよいというものではありません。市民一人ひとりがごみ問題に対してどのような努力をすれば良いのか。また、地球環境をいたわるには、どのような方法があるのかを考えることから始まります。

申核都市として相応しい投資を やまぐち情報づくりに積極的な意見 文化都市



上空から見た新都心整備地区一帯

山口市は、21世紀を展望するまちづくりの計画として中園町、熊野町等一帯の新都心地区の形成を目指す。「やまぐち情報文化都市基本計画原案」を策定しました。

この計画を、よりよいものとするために各家庭に「原案」を配布すると共に市内各地で4回の説明会を開催し、市民の皆さんの意見を求めてきました。9月30日までに寄せられた意見や提言は、約百件を数え、関心の高さがうかがえました。

具体的な意見、提言は次のとおりです。

計画全般に関連して

- (1)地元住民への配慮を十分に計画が中途半端ではないかもっと大きくすべきでは
- (2)業務ビルができれば一帯がゴーストタウン化するので
- (3)山口県の中核都市としてふさわしい投資を
- (4)導入する施設等の提案として
- (5)中央高校跡地の有効活用として市役所を
- (6)市立図書館の設置を
- (7)演劇専用ホールの設置を
- (8)大規模な駐車場の設置を
- (9)中央公園の地下に駐車場の設置を
- (10)(仮称)文化交流プラザを高層化し、都市型ホテルを
- (11)パスターミナルの設置を

具体的な施設整備などに関して

- (1)建物の配置、高さ等に配慮を
- (2)山口市医師会会長・保健衛生功労
- (3)武波貞義(75・大歳・元山口市消防団副団長・消防功労)
- (4)勲六等瑞宝章
- (5)池田由雄(61・仁保・元三等空尉・防衛功労)
- (6)勲七等青色桐葉章
- (7)入江幹雄(72・秋穂・二島・元山口県警部補・警察功労)

秋の叙勲

山口市から9人が受章

平成4年秋の叙勲に市内から次の方々が受章されました。
功労の分野はそれぞれ違ってもその道一筋に長年にわたって活躍され、その功績が認められた方々です。
(一)内は、年齢、住所、主要経歴、功労概要(敬称略)

- 治功(功)
- 勲四等瑞宝章
- 桑原秀夫(77・平川・元警視長・警察功労)
- 石田武雄(70・吉敷・元山口検察審査会事務局長・裁判所事務功労)
- 西村 静(70・仁保・元山口市議会議員・地方自治功労)
- 勲五等双光旭日章
- 勲五等瑞宝章
- 丘 幾司(72・白石・元(社)

- 三隅槌夫(70・吉敷・元山口県民生部長・地方自治功労)
- 勲五等瑞宝章
- 勲七等青色桐葉章

- (2)国道9号を拡幅し、歩道を広く
- (3)自然を生かした魅力的な公園整備を
- (4)関連する市全体の施策に関して
- (5)就業者の居住対策を
- (6)山口と小郡間に地下鉄を建設し、アクセス時間を短縮すべきです。

市議会特別委員会でも調査、研究

また、9月22日には、市議

大内南小学校開校 山口芸術文化振興基金に寄付

来年4月に開校する大内南小学校の教育施設振興資金として10月9日に(株)山口松樹園の岡本薫代表取締役が百万円を寄付されました。(写真左)



また、同日、山口ベンチャークラブの安光裕子会長がC・S赤れんがで開催された「末廣正巴サロンコンサート」収益金10万円を芸術文化振興基金に寄付されました。(写真右)



会の第1回やまぐち情報文化都市づくり特別委員会も開催され、この新都心づくりについで調査、研究が始まりました。
寄せられた意見、提言については議会の特別委員会の調査、研究と合わせ十分な検討を重ね、基本計画に反映していきます。

基本計画の確定後は、道路、公園等の基盤整備や(仮称)文化交流プラザなどの拠点施設について、具体的な計画を作成し、事業開始へ向けて作業を進めていきます。

人として生きる願いを大切に



明るくたくましく競技をする大歳小児童

国民的課題である同和問題を一日も早く解決するため、今年も同和对策推進強調旬間が、11月11日から20日まで開催されています。
この運動にちなみ、市民の一層の理解を得るために、市内の各地、各機関等で取り組まれている事例を特集して紹介いたします。

それぞれの心の垣根

山口県北浦地方のさるお寺の参道脇の立派な生垣。ところが、気をつけて見ると生垣の列の左右の高さが明らかに違っているのです。
隣接する同和地区の方は、

あたかも目隠しするがごとく高く、反対側は周囲の住居を見はらせる高さにきちんと刈り込まれています。
かつて、江戸時代の防長では、被差別部落を垣内(かきのうち)と呼び、文字通り垣根を巡らせて他との違いをきわ立たせていました。この為政者の差別的意図は、やがてすべての人々に、外見上の区別だけでなく、心の中に被差別部落の住民に対して高い高い垣根がつけられたわけです。

今年、部落の解放を自ら求めた全国水平社が創立されてちょうど七十周年目。「同和問題解決へあと一歩」が今までも増して強く求められているところ。このことは「そんなことを言っているのよ」という口を立っている学習ではなく、しっかりと胸の内を語り合う中で、このもっとも不合理な差別を一刻も早く解消するために、自分に今何ができるかを問いかけていられると言えます。

指定校での同和教育

鑄銭司小学校

鑄銭司小学校では、「豊かな人間性を育てるための表現活動」を目指して、同和教育に取り組んでいます。今年度は、その表現活動の中でも、特に対話活動に絞って研究を進めています。
対話は、一方的なおしゃべりではありません。対話成立のためには、まず、なんでも言えるあたたかい人間関係に満ちた集団が必要です。その集団の中で、自分の意見をしっかりと持ちながら、相手の個性的な意見をも尊重していく姿勢が大切です。

指定地区での同和教育

白石地区

白石地区では、「ゆたかな心とふれあい」をスローガンにして平成4年6月に「白石地区人権学習推進協議会」が発足しました。

嘉川地区

嘉川地区では、指定を受けた4月以降、月一回以上のペースで研究会を開き、この問題に対する認識を深めるよう努力しています。

白石中学校

「人権に対する意識と感性を育む同和教育の推進」という主題で、特に次の点に着目して研究を進めています。
①正しい知識に裏付けら

公民館運営審議会、さどづくり推進協議会等を中心に、各団体との連携を密にし、人と人とのふれあいを深めてゆくこと、地区内の学校と協力しながら地域啓発をすすめることを重点に努力しています。
これまでに、推進委員会委員の研修、広報「しらいし」臨時号発刊、西京老人大学での啓発等を進めてきましたが、これからも、広く地域にPRを重ね、明るく、住みよい「白石づくり」をめざしたいと思います。

研修に参加した人は人権学習推進委員会を中心に、婦人組織リーダー、自治会長などが延べ百名をこえました。
研修のあとの質問、意見交換会では、積極的な意見や消極的な意見が出ますが、みんなが納得の行くまで話し合い、展望のある同和教育を進めたいと思っています。
これからも推進委員会を中心に学習を続け、今年度以降どのように地区の人々へ広めてゆくか、まだまだ私たちの道のりは続きます。

みんなできり組む同和教育

社会同和教育

指導者養成講座

地域・職場における社会同和教育の拡充・深化を図るためにリーダーの養成を目的に社会同和教育指導者養成講座が消防本部講堂で行われ、96名の方が修了されました。

昭和60年度から数えて5百名にも達する修了者の今後の活動の場をどう確保するかが大きな課題となっています。



小・中学校転任教員 同和問題研修会

山口市の同和教育について理解を深めるとともに、学校同和教育のいろいろな問題について協議することを目的として8月25日に陶隣保館で開催しました。

「学校同和教育の現状」と題して大歳小・白石中の先生から発表があり、また陶隣保

館作成のスライドは、後の研究協議の内容を深める上で大きな効果がありました。

企業・職場

同和教育連絡協議会



同和問題の早期解決をめざし、企業職場での同和教育の推進方法についての協議会を6月4日に90の関係団体が参加して開催しました。

同和教育

推進委員会

市の同和教育を一層推進するため、5月14日に研修会を行いました。吉敷・佐山地区の委員から事例発表があり、各地域同和教育・人権学習推進協議会の組織化と活性化に努力することになりました。

また、10月6日に広島県加計町を研修視察し、町民全体が参加する同和教育の研修体制に深い感銘を受けました。

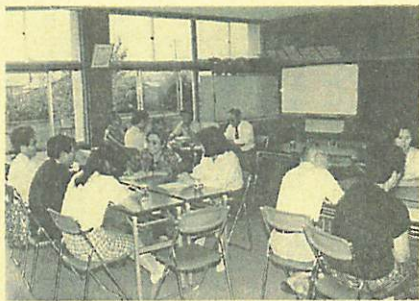
地域同和教育(人権学習)

推進協議会

同和問題を自分自身の課題としてとらえ、地域ぐるみで身近な生活の中での偏見や差別を正し、人権尊重の風土づくりを目指し、平成2年度から公民館を中心として、各地域ごとに推進協議会の設置をすすめてきました。

これまでに、大歳、湯田、仁保、佐山に同和教育推進協議会が、嘉川、宮野、吉敷、白石に人権学習推進協議会が設置され、それぞれの地域で同和問題の解決にむけて、各種研修会や推進大会の開催など、熱心な活動が行われています。

これからも組織づくりを、本市同和教育の重点施策として、推進を図っていきます。



松江市内の公民館長21名と同和教育課職員5名が、9月28日、市へ研修視察に来られました。白石・湯田公民館、同和教育室職員が対応しました。

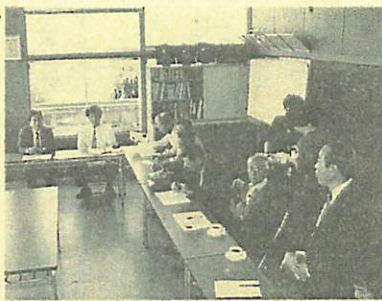


松江市
公民館長



湯田・佐山地区同和 教育推進協議会

10月2日湯田公民館で行われ、両協議会の取り組み、推進上の問題点等について、出席委員の活発な意見交換が行われました。



研修視察に参加して

山口市同和教育推進委員 中村 孝雄

広島県加計町は、太田川の源流地域の山間で、人口約6千人の過疎化・高齢化の進んでいる町です。

町では、「人間性豊かな明るい町づくり」のためには、一日も早く、同和問題を解決しなければならぬとしており、住民対象の研修は、昭和49年から取り組み、昨年度は町を25の地域に分けて、地域住民研修が行われ、社会同和研修には家族ぐるみで出席することを目指しています。また町では、最近同和問題を解決

同和教育 視察 研修

PTA同和教育なかよし委員会に参加して

湯田小学校PTA会員

湯田小学校PTAなかよし委員会は、同和問題を勉強しそれをPTA会員全体に広げるための活動をする委員会です。

自分には差別的な気持ちはないという自信が、このごろゆらぎ始めています。「なかよくしてあげている」というように、無意識のうちに相手より優位に立とうとしてはいないか、なにげなく使った言葉で相手を傷つけていることはないかなど。

同和問題を勉強し理解を深めることによって、自分自身の人間性を高めていこうと考え、活動を進めています。親である私たちが、ほんとうの意味で人を人として認め、大切にすることを学ぶことで、子どもをよりよい方向に導いていきたいと思っています。

なかよし委員会に参加することで、日頃の自分の考えや行動をふりかえる時間が持てたことがよかったです。

「差別する心の垣根つくるまい」

平成3年度作品

湯田中学校2年

西坂

真紀

「差別する心の垣根つくるまい」

平成3年度作品

湯田中学校2年

西坂

真紀

山口県同和対策推進強調旬間(11月11日から20日まで)にちなんで、県市では同和問題についての啓発標語・ポスター・感想文(小学生は市独自)を募集しましたところ、多数の応募がありました。

その作品の一部を紹介します。

「何か、おかしいな。許せない。」

江戸時代の身分制度を学習してこんな思いが私の心に広がりました。

土農工商、そしてそれよりも身分の低い人々という制度が作られたことを知り、何かおかしいと思ったのです。

それは、身分というのはその人のひとがらとは関係なく生れた時から決まっているからです。武士の子は武士、農民の子は農民、生まれによって生き方や暮し方が決められているからです。

「こういう生き方をしたい。」
「○○になりたい。」というような誰もが持つ願いよりも、生まれや身分が優先されるといのが、何かおかしく感じ

るのです。

それだけではありません。

身分によって考えられないような差別を受けるなんて、許せないと思いました。

「一番身分の低い人は、まげ

作文 江戸時代の身分制度を学習して…



大内小学校
6年 金子由佳

を結うな。」とか、人の好きな仕事をさせる、悪い条件の土地に住まわせるなど、本当にひどい差別です。

別に悪いことをしたわけでもないのに、「上見てくらす

な、下見てくらす。」という農民へのみせしめのためだけに身分の低い人を作るなんて許せないと思うのです。

こんな制度を作った武士だけが悪いわけではありません。もっと悲しいのは、同じように武士から支配され、ひどい生活をさせられていた農民がさらに身分の低い人を見下して差別したということです。

市特選

差別せぬ

やさしい心と

強い意志

標語



野田学園中学3年 田中絵美

県入選

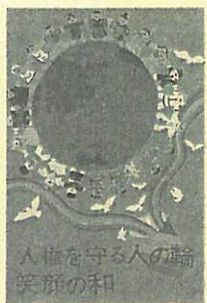
差別せぬ

心が築く

明るい未来



宮野中3年 重村 尚徳



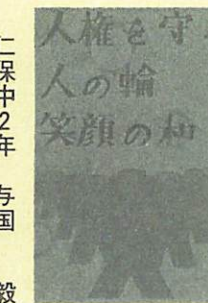
平川中3年 高木 陽子



白石中2年 岡 絵理奈



仁保中2年 与国 毅



川西中3年 山根 幸枝

ポスター入選作品

小学生の作品

感想文

(入選)
佐山小5年 加藤佳絵、
平川小5年 三宅麻衣、白
石小6年 吉井大祐、大内
小5年 石田朋子、湯田小
6年 黒川有紀

(佳作)
湯田小5年 河野嵩子、
大殿小5年 金子理恵、陶
小6年 杉山じゅん、宮野
小6年 藤田将貴、湯田小
5年 西崎久扇、名田島小
5年 長広 泉

中学生の作品

ポスターの部

(佳作)
大内中3年 川畑朋子、
秋本美千代、2年 山崎志
穂、鴻南中3年 金沢裕美
子、二島中2年 平田隆之
白石中2年 陳青妙、宮野
中3年 徳田香織、大殿中
3年 藤村智明、湯田中3
年 畠中英子、重藤綾子

標語の部

(入選)
人権はみんなの大事な室
物 湯上中1年 齊家瑞穂

自由・平等な現代の世に生を受け、何の苦勞も知らずに育ってきた私には、差別に苦しめられてる人達の真の気持ちちは、何年たってもわからないだろうと思います。わかってるつもりでいても、それはその人達の苦しみの百億分の一にすぎないのかも知れません。私には、他人の心の痛みがわかりません。わかっているつもりでいて、それは自分がわかっているふりをしているだけなのだろうと思うのです。

しかし、だからといって、私にできることがないわけではありません。私にできることは差別をなくするためにただひたすら努力すること、そのことしかないのです。

私が、差別の問題を解決させたいと、真剣に考えるようになったことには訳があるのです。

小学生の頃、父に連れられて同和地区の人達の演説を聞きに行ったことがあります。同和地区の人達は、長い話の

ポスター特選

湯田中3年 長嶺文字



中で何回も「私はみなさんと同じ人間ですか。私のこの目、この鼻、この口のどこがみなさんと違うのですか。どこか一つでも違う所があるのですか。私もみなさんと同じ人間なのに、なぜ——」と涙を流しながら話されました。この言葉だけは何年たっても忘れることができず、ずっと私の心の中にしこりとして残っていました。当時の私は、

作文

**同じ人間として
生まれて**



宮野中学校
3年 鎌田真紀子

差別がどういうものなのか、あまりわかっていませんでした。だからこの話を聞いた後、父に、どうして差別というものができたのか、どうして差別が現代に残っているのか、などたくさん質問をしました。

それは、同じ人間が同じ人間の、人間としての価値を認めていない差別を、私が心の底から恐ろしいと感じたからです。私が質問したことすべてに、父は答えてくれました。どうして差別というものができたのか、どうして差別が現代に残っているのかという質問に、父は、「人間はとも弱いき生物なんだ。だから自分よりも出来ていない人が一人で

もいると、ほっとしてしまふ。江戸時代の身分制度、土農工商があったのは知っているだろう。しかし、実際にはその下に、えた・ひにんという身分もあつたんだ。それは、農民達の不満が幕府に向けられないように、自分達よりもつと下の人間がいると思わせ、農民達の不満をやわらげるため、さらに、幕府が農民達を支配しやすいようにしたからだ。この身分制度は人間の弱さをうまく利用している。これが良いとは決して言えないけどね。明治時代に、身分解放令

を出したが、人間は自分の心に勝てなかつた。差別ができたのも、差別が現代に残っているのも、私達人間の弱さが原因だ」と人間の弱さについて話してくれたのは今でもはっきり覚えています。

現在、差別に苦しめられてる人達は、夢にも差別に苦しみたいと生まれてきたわけではなく、生きていくわけでもありません。生まれた時は、夢や希望いっぱい輝いていたことでしょうか。そして、その夢に一步でも近づいていくため、生きていこうとした時差別という大きな壁が、目の前に立ちはだかっていたのではないのでしょうか。

私が差別を受けていないから言えるのかも知れませんが、もし、私がこういう場面に出くわしたら、「夢も希望もなくなつた」と自分で自分を哀れんで、とんでもない行動をとっていたかも知れませんが、父や母が私を産んだことを恨んでいたかも知れません。しかし、差別に苦しんでいる人達は「次の世代に差別を

残したらいけない」と考え、同和問題の解決を目指しているのです。私には信じられないことなのですが、だれよりも差別に苦しめられてる人達だから、また、だれよりも差別が恐ろしいと感じている人達だからこそできる行動なのかも知れません。

差別に苦しんでいる人達が同和問題の解決を目指しているのに、差別という武器を使って傷つけている私達が何もしなくて良いわけはありません。近年は、結婚問題や就職問題は少なくなってきましたが、それでも全くなくなったとは言えません。私達は、同和地区だからと言うことで、結婚や就職に反対する古い目と古い知識を捨てなければいけないのではないのでしょうか。

今、時代が、やがて訪れる二十一世紀が求めているのは、古い考えにとらわれすぎている考えではなく、明日へ希望がもてるような新しい考えなのではないかと思えます。同じ人間として生まれて、私達が何をしてきたか、もう一度よく考えてみた方が良いのではないのでしょうか。同和問題の解決を目指すことが、私達と同じ目、同じ鼻、同じ口をもつ同じ人間である人達に、差別で苦しめてきた私達がしなければいけない努力なのです。

「差別する心の垣根つくるまい」

平成3年度作品

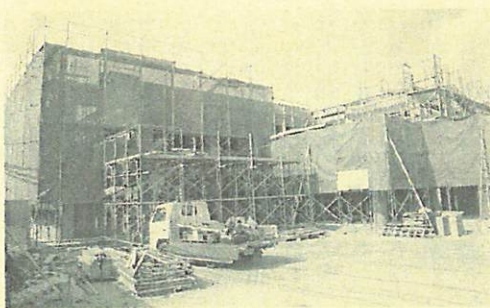
湯田中学校2年

西坂

真紀

- 作文の部**
- (入選)
- 大殿中3年 池田 悠
 - 鴻南中2年 岩崎真弓、湯上中2年 山根真理子、川西中2年 伊藤香奈子、3年 山門貴子
 - (佳作)
 - 二島中3年 落合みはる、富永多恵、大殿中1年 佐藤大輔、大内中1年 塩見景子、3年 二川 愛、宮野中3年 鳥井芳子、鴻南中1年 重見美恵、3年 栗田和彦、湯上中3年 松崎郁枝、湯田中3年 播磨由加
- 人権を守るその町笑顔あり 湯上中3年 岩崎由江
差別なく守る人権育てる社会 鴻南中2年 平岡静
差別をなくす心が開く明日の窓
宮野中3年 木橋智子
人と人 笑顔でつなぐ心と手
二島中1年 浅原恭子
(佳作)
鴻南中2年 稲垣智織、宮野中1年 中村多津恵、2年 堤 佑介、仁保中2年 高畠 海、大内中1年 指沢尋美、大殿中1年 下松谷晴江、3年 佐藤経子、白石中1年 高橋美美子、川西中2年 松本杏子、平川中2年 坂井宏美

教育施設の整備など 着実に進行中



平成5年3月の完成を目指して工事が進む
平川出張所・公民館。

補正の主な内容は、陶小学校の校舎増改築事業に1億6千9百余万元、山口朝日放送(株)への出資金1千5百万円などです。

平成4年度上半期 財政公表

市の予算がどのように執行されているか市民の皆さんにお知らせするため、平成4年度上半期(4月1日～9月30日)の財政状況を公表します。

一般会計

一般会計の予算規模は、当初3億49億6千万円でスタートし、その後、5億8千9百余万元の追加補正を行い、総額3億55億4千9百余万元となつております。補正の主な内容は、陶小学校の校舎増改築事業に1億6千9百余万元、山口朝日放送(株)への出資金1千5百万円などです。

特別会計予算の収支状況(9月末)

会計	予算現額	収入済額	支出済額	支出済率(%)
国民健康保険	57億3,345	21億5,897	19億8,561	34.6
老人保健	92億6,487	35億9,371	38億7,458	41.8
同和対策資金貸付	1億7,628	7,261	6,290	35.7
畜産場	1,880	32	713	37.9
下水道事業	39億6,363	3億9,700	11億5,220	29.1
土地取得事業	1億0,856	5,766	8,397	77.3
駐車場事業	4,368	1,913	1,183	27.1
農業集落排水事業	1億2,920	0	632	4.9
特別林野	4,607	2,657	983	21.3
合計	194億8,454	63億2,597	71億9,437	36.9

市有財産現在高

区分	9月末現在高
土地	244万6,514.12m ²
建物	27万2,540.94m ²
山林	6,465.21ha
立木	81万5,083m ³
有価証券	5,973万円
出資による債権	5億2,556万円
債権	(土地) 3,104.09m ²
基金	18億7,657万円
現金	64億0,567万円
土地	3,723.91m ²

市債現在高 (単位:万円)

区分	9月末現在高
一般会計	255億4,386
特別会計	153億4,744
合計	408億9,130

特別会計の収支状況は、表の通りで、このうち下水道事業特別会計においては、宮野、朝倉、大歳、平川、御堀地区を中心に処理地域は、高は、左表のとおりです。市有財産および市債の現在は、左表のとおりです。

特別会計

在宅介護支援センター事業、ホームヘルプサービスチーム運営推進事業、寝たきり老人訪問理容・美容サービス事業など。
企業誘致、地域開発
山口テクノパークの第2次分譲優良企業の誘致、鋳造司団地の整備など。

一般会計の収支状況 (9月末現在)

項目	入		出	
	予算現額(万円)	収入済率(%)	予算現額(万円)	支出済率(%)
市税	157億8,269	53.3	議会費	3億2,614 45.3
地方譲与税	8億5,000	19.2	総務費	56億6,312 32.6
利子割交付金	5億5,000	31.6	民生費	56億3,072 37.4
ゴルフ場交付金	6,000	41.3	衛生費	30億6,232 36.0
利用自動車取得交付金	3億5,200	34.4	労働費	7,534 56.1
地方交付税	53億3,100	64.7	農林水産費	12億6,846 19.8
分担金および負担金	4億2,962	40.2	商工費	13億7,129 31.9
手数料	4億0,922	57.0	土木費	61億4,437 16.6
国庫支出金	36億7,333	19.1	消防費	9億3,203 49.5
県支出金	12億4,392	9.5	教育費	73億7,923 23.1
財産収入	4億5,379	46.1	災害復旧費	1億4,641 1.0
寄附金	3,371	12.8	公債費	34億4,458 47.9
繰入金	8億9,682	0.0	諸支出金	3億0,000 100.0
市債	41億6,271	0.0	予備費	5,305 0.0
その他	15億6,925	34.4		
合計	357億9,806	40.0	合計	357億9,806 30.9

(注) 歳入歳出予算現額は、繰越額2億4,888万円を含む。

国民健康保険 被保険者証の更新

現在お使いになつて国民健康保険被保険者証・退職被保険者証は、11月30日(月)で有効期限が切れます。これに伴い、被保険者証の更新を行います。
更新の時期 11月16日(月)～30日(月)
新しい被保険者証の色 一般：もも色
退職：はだ色
更新の方法 納付組織国保推進委員会を含む、加入されている方は、お世話人さんを通じてお申し込みください。
※福祉施設入所等により、遠隔地被保険者証が必要な方は、市保険年金課または各出張所へ申請してください。
問い合わせ 市保険年金課 (22-4111)へ

捜査活動にご協力を

今年は昨年に比べ、「空き巣狙い」、「出店荒らし」といった窃盗事件が増加しています。事件の早期解決や被害回復のため、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。
○被害に遭つたら早い届け出を。それぞれの理由で届け出されないことがありますが、結果的に、犯人を野放しにすることになります。
○聞き込み捜査にご協力を。犯人検挙のための聞き込み捜査にご理解をいただき、

警察官がお伺いした時は、ご協力をお願いします。
○不審者(車)を見つけた時は110番を。不審者(車)の発見は、捜査の重要な手がかりで、事件の早期解決につながります。
○指名手配被疑者の発見にご協力を。掲示中の手配ポスターやチラシの人物に心当たりがある、近所づきあいもせず、様子がおかしい人物がいるなどの情報をお寄せください。
問い合わせ・連絡先 山口警察署(24-0110)へ

山口市中小企業 年末資金融資制度

- 対象 市内に事業所を有し、引き続き1年以上同一事業を営んでいる中小企業者
- 融資条件 ▽資金使途 運転資金 ▽融資限度額 1企業 500万円以内 ▽融資期間・返済方法 5か月以内・一括返済 ▽融利率 年4.7%
- 取り扱い期間 12月31日(木)まで
- 申し込み 山口信用金庫、山口銀行、吉南信用金庫、西京銀行、広島総合銀行、西日本銀行
- 問い合わせ 市商工観光課(☎22-4111)へ

募集コーナー

第18回山口市家庭婦人 バレーボール大会

- 日時 12月13日(日)開会式午前8時30分、競技開始午前9時
- 会場 県スポーツ文化センター
- 対象 市内に在住する既婚の家庭婦人および35歳以上の独身女性
- チーム編成・人員 地区またはグループなど編成自由。人数は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手15名以内。
- 参加料 1チーム 1,000円
- 申し込み 12月7日(月)までに、所定の申込書で市教育委員会体育課(亀山町2-1 ☎22-4111)へ
- ※監督者会議を12月9日(水)午後3時から市役所第8会議室で開催。

おやこワークプロ教室

- 日時 11月29日(日)午前9時30分～午後3時
- 場所 市働く婦人の家
- 対象 小学生とその親
- 料金 テキスト代1,030円、昼食代1人 515円
- 申し込み・問い合わせ 市働く婦人の家(☎21-1929)へ

健康増進トレーニング教室

- 日時 毎週木曜日、午後7時～9時(医師検診日だけは、毎月第1土曜日午後1時から)
- 場所 山口南総合センター
- 対象 一般男女(学生を除く)で、運動可能な人
- 内容 健康チェック、運動指導等
- 募集人員 毎月10人(申込順)
- 参加料 1,500円
- 申し込み 電話で随時、山口南総合センター(☎32-8333)へ

滑山国有林の緑のオーナー

- 期間 平成5年2月26日(金)まで
- 場所 佐波郡徳地町滑山国有林
- 対象 個人、団体等問わず誰でも
- 募集口数 59口(1口当たり50万円)
- ※緑のオーナー制度とは、契約者と国とで国有林を共有し、伐採時に、その収益を分取する制度です。なお、現地案内が、11月29日(日)(午前10時山口営林署に集合)に行われます。
- 申し込み・問い合わせ 山口営林署総務課(野田35-1 ☎22-0386)へ

赤十字ヒューマニティ フォトコンテスト

- 応募締切り 12月25日(金)(当日消印有効)
- 応募資格 制限なし
- テーマ 「あなたが見た赤十字、感じた赤十字」
- サイズ カラー・モノクロプリントの単写真で、キャビネ～四つ切
- 応募方法 作品の裏面に、タイトル、氏名、住所、年齢、職業(学校名・学年)、電話番号、応募回数、コンテストを何で知ったかを明記した応募票(自作可)を貼付して、日本赤十字社東京都支部「赤十字ヒューマニティ・フォトコンテスト」係(〒169新宿区大久保1-2-15 ☎03-5273-6746)へ

身体障害者を対象とした 山口県職員採用選考

- 受付期間 12月21日(月)まで
- 選考職種・採用予定人員 事務・1人程度
- 受験資格
- 1 自力により通勤ができ、介護者なしに職務の遂行が可能で、次のすべての要件を満たす者。
 - ①身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から4級までの者。
 - ②昭和38年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた者。
 - ③山口県内に住所を有する者。
 - ④活字印刷文による出題に対応できる者。
- 2 次のいずれかに該当する者は、受験できません。
 - ①日本の国籍を有しない者。
 - ②禁治産者及び準禁治産者。
 - ③禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの者。
 - ④山口県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者。
 - ⑤日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法、またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者。
- 選考の日時・場所 (1次)平成5年1月11日(月)受付午前8時40分～9時10分、試験午前9時30分～午後2時30分・県庁1階視聴覚室(2次)平成5年2月上旬
- 受験申込書の請求 はがきまたは電話で、山口県人事委員会事務局(滝町1-1 ☎33-4474)へ。はがきの場合は、「身体障害者採用選考受験申込書請求」と明記の上送付先、郵便番号、電話番号を記入してください。

成人式該当者の皆さんへ

市では、成人式を平成5年1月15日に市民会館で行います。

該当者は、昭和47年4月2日から昭和48年4月1日の間に、生まれた人です。

案内状は、11月1日現在の住民基本台帳をもとに作成し、12月末に送付する予定です。多数のご参加をお願いします。

他市町村に登録している人で、参加を希望する人は、市教育委員会社会教育課(☎22-4111)または、最寄りの公民館へお申し出ください。

新築住宅に 利子補給をします

県では、住宅を新築する人に利子補給をします。

■対象住宅

- ①高齢者等配慮住宅
公庫を利用して建設する高齢者に配慮した住宅(若い方も利用できます)
- ②優良木造住宅
公庫の融資を利用し、柱・土台の寸法が12センチ

角以上等の基準を満たす住宅

- 利子補給 当初5年間、年利0.5%相当
- 申込期間 通年(予定戸数に達した場合は打ち切りします)
- 申込書配布先 土木(建築)事務所、市建築指導課
- 問い合わせ 山口県住宅課(☎33-3880)へ

編集後記

▽今年も11月11日から同和対策推進強調旬間が展開されています。ひとりひとりが大切にされるまちづくりを進め、差別のない明るい社会の実現を目指してみんなで努力しましょう。

▽リサイクルや過剰包装自

粛などいろいろな減量作戦を展開しても増え続けるゴミ。それでも最近では増加の度合いが鈍化してきたようだ。

市ではゴミ対策を根本的に検討するため、学識経験者などによるゴミ問題協議会を発足させました。ゴミ戦争停戦に努力しよう。

健康コーナー

乳幼児特別クリニック

- 期日 12月7日(月)
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 山口環境保健所
- 対象 発育・発達について心配のある乳幼児
- 申し込み 必ず電話で、山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ。予約制。

催し物とお知らせ

国民健康保険料の納付額証明書

- 国民健康保険料の納付額証明書を11月中旬にお届けします。所得税・市県民税の申告にご使用ください。
- 送付方法 納付組織(国保推進員を含む)に加入されている方は、世話人さんを通じてお届けします。個人納付、口座振替をされている方と、納付組織等で前納されている方は、郵送します。
 - 問い合わせ 市収納課(☎22-4111)へ
 - ※国民年金保険料の納付額証明書は、1月にお届けします。

「全国物価統計調査」にご協力を

- 11月18日(水)～19日(木)に、全国一斉に「全国物価統計調査」が実施されます。
- この調査は、全国で約20万、山口市で約500の小売店舗、サービス事業所を対象に、主な商品の販売価格やサービスの料金を調べるものです。結果は、各地域における賃金の算定などの資料として利用されます。
- 調査員が訪問した際には、ご協力くださるよう、お願いします。

市民労働福祉セミナー「働く人の心の健康」

- 日時 11月25日(水)午後6時～8時
- 場所 山口県労働者福祉文化中央会館
- 講師 山口県精神保険センター所長・久保武氏
- 受講料 無料
- 問い合わせ 市商工観光課(☎22-4111)へ

山口市教育の集い大会

- 日時 11月28日(土)午後1時～4時10分
- 場所 大殿小学校講堂
- 内容 宮野、大殿小・中学校の児童・生徒による体験発表、「今、求められている豊かな体験を」と題したシンポジウムなど。
- ※親子一緒に、多数のご参加をお待ちしています。

電話加入権の公売

- 日時 11月26日(木)午前10時(午前9時40分までに入室)
- 場所 市役所第2会議室(2階)
- 持参品 印鑑、入札予定金(50,000円以上)、本人以外の方は、委任状が必要です。
- 公売する電話加入権 (山口局) 23-6868、22-2304、25-1183 (広島局) 824-3116、(水島局) 56-5965
- 問い合わせ 市収納課(☎22-4111)へ
- ※当日、公売を中止する場合がありますので、ご了承ください。

心身障害児の療育相談会

- 日時 12月10日(木)午後1時～3時
- 場所 山口環境保健所
- 対象 心身に障害を持つ乳幼児(疑いも含む)とその保護者
- 相談担当者 小児科、整形外科、精神科の各医師ほか関係者
- 持参品 母子健康手帳
- 問い合わせ 市老人障害福祉課(☎22-4111)へ

市盲人福祉協会の治療奉仕

- 日時 11月22日(日)午前10時～午後1時
- 場所 市老人憩の家「寿泉荘」
- 内容 会員約20名による、マッサージのサービス
- 料金 無料
- 問い合わせ 市盲人福祉協会会長・村岡正さん(☎23-3903)へ

服部碩夫モダンアート展

- 日時 11月21日(土)～26日(木)午前10時～午後5時
- 場所 クリエイティブ・スペース赤れんが
- 入場料 無料
- 問い合わせ クリエイティブ・スペース赤れんが(☎28-6666)へ

12月の不燃物収集日 出張所地区

1日嘉川、3日佐山、4日陶・鋳銭司、8日秋穂二島・名田島、11日大内、15日平川、17日小鯖、18日仁保、22日吉敷、25日宮野、29日大歳

市民無料法律・行政相談

- 日時 11月25日(水)午後1時30分から
- 受付 午後1時～1時30分
- 場所 白石公民館
- 相談内容 日常生活における法律上の問題や行政に関する要望など
- 相談員 弁護士、行政監察事務所職員
- 問い合わせ 市広報課市民相談室(☎22-4111)へ

12月の引越しごみ収集

12月の引越しごみ収集については、2日、9日、16日の各水曜日まで、対応します。23日(水・祝日)および30日(水)については、祝日および年末ごみ対応のため、収集できません。

山口県史第1回講演会

- 日時 11月29日(日)午後1時30分開演
- 場所 山口県婦人教育文化会館
- 講師 田中彰氏、清永只夫氏
- 申し込み はがきまたは、電話で県企画部県史編さん室(滝町1-1 ☎33-4810)へ

無料調停相談

- 日時 11月26日(木)午前10時～午後3時
- 場所 白石公民館
- 内容 交通事故、金銭、土地建物、公害その他の民事上の紛争、および夫婦・親子間の紛争、相続その他の家庭内の紛争について、手軽な紛争解決手段である、調停制度の利用に関する無料相談会
- 相談員 山口地方・家庭裁判所所属調停委員

やさしいフランス語会話

- 期間 12月1日～平成5年6月29日(毎週火曜日)
- 時間 午後6時～8時
- 場所 山口女子大学
- 対象 初級(初めての方もどうぞ)
- 受講料 無料
- 問い合わせ・申し込み 山口女子大学(☎28-0211)へ

中小企業で働く皆さん

共済制度を ご存じですか

■共済事業

- 掛金(月額) (1型) 4百50円、(2型) 9百円、(3型) 千5百円、(高齢者型) 4百50円、(ファミリー型) 5百円
- 加入資格 県内に住所または勤務先を有する中小企業従業者、小規模事業主およびその同一生計家族の方で健康な方
- 加入できる年齢 (1・2・3型) 15歳～64歳、(高齢者型) 65歳～70歳、(ファミリー型) 0歳～64歳
- 給付額(例) 3型(月額千5百円)の場合、労災死亡・重度障害:最高1千万円、住宅災害:最高2百万円
- ねんきん共済
- 掛金(月払) 1口(千円)で3口以上(年払) 1口(1万円)で1口以上(随時払) 1口(1万円)で10口以上
- 加入資格 15歳～55歳までの方で、1・2・3、ファミリー型の加入者と配偶者
- 年金開始年齢 60歳(55歳～65歳の間で選択)
- 基本年金額 12万円～72万円までに設定
- ※問い合わせ 市勤労福祉共済会(市商工観光課内 ☎22-4111)へ